

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 当院におけるチルゼパチドの使用実態調査

[当院研究責任者] 部署名 薬剤部 氏名 渡邊 絵理

[研究の概要] 2023年4月に発売となったチルゼパチドは世界初の持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬であり、非常に高い治療効果、体重減少効果が期待でき、今後の糖尿病治療を大きく変えていくのではないかとされている。

先行研究では GLP-1 受容体作動薬であるリラグルチドの有効性と安全性の検討をしており、報告を行っている。今回はチルゼパチドの有用性と安全性について調査し、評価する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

チルゼパチド発売開始後（2023年4月から2024年4月まで）、公立陶生病院にてチルゼパチドを処方された患者さん

●研究期間：実施許可から2025年12月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

- ・カルテ情報：年齢、性別、体重、入院時の原疾患および既往歴、チルゼパチドの投与日数・投与量、腎機能障害・肝機能障害の有無、薬歴など

●利用する検体、カルテ情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 薬剤部 氏名 渡邊 絵理

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139